

新刊... 卷之三

高一月五十五石

享和五年... 高一月五十五石

所部... 高一月五十五石

高一月五十五石

高一月五十五石

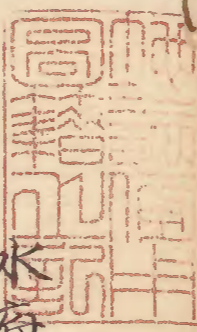
高一月五十五石

高一月五十五石

高一月五十五石

高一月五十五石

高一月五十五石



水府志新卷之十六

松岡

高二万五千石

中山備中守

一〇九二六號

享和三年癸亥常陸州久慈郡太田ヨリ舊封同國多

珂郡松岡ニ移同郡ノ内二十九ヶ村及七新田ヲ以

属不明年甲子化手綱ノ古城ヲ終シ是ヲ館ト

称ス土下午綱秋山島名安良川高萩高戸赤濱小野

大橋栗野日棚十一村ノ古城ノ称ニ從テ手綱郷ト

称シ松井足洗上下櫻井福鳶石岡大塚内野木皿丸

南方地高ク東方海ニ接シ西北山ニ接シ其

ヲ以テ中ノ郷ト称ス大能上下君田横川

深山幽谷ノ中ニ在ルヲ以テ山中郷ト称



元和中戸澤右京上相田豊田印庭磯原大津五ヶ
元亮并テ之ヲ封ス
村慶長中佐竹氏ノヲ以テ中ノ郷ニ属シ柳澤大荷
臣車丹波ノ封ヲリ
田若栗中戸川米平鳥曾根南田代七新田之ヲ寛永以後
云々以テ山中郷ニ属ス



高一百五十石
...

手網郷十一村

上手網村

地方東西二里三十町餘南北一里許氏屋百七十

水戸ヲ去ル下十二里二十四町東南八平ニ

西北ニ山アリ東ハ下手網赤濱南ハ高萩秋

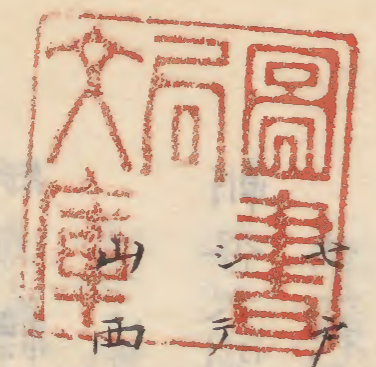
西ハ鳥曾根大能北ハ若栗松井日棚ニ隣ル

山川

関根川 廣十五間ヨリ八九間ニ至ル常ニ水深ヲ

一六七寸アリ一二尺ニ至ル水源ハ同村踞踞原

山若東新田西所ヨリ出ツ此ニ至テ合テ一十ナ



北二十六

下手綱高戸ヲ過テ海ニ入ル高戸ニ至ルヲ里橋板橋ヲ設テ
往來ヲ便ス

紙線草 松草 香草

神社

朝香大明神 縦五尺一寸餘横五尺七寸餘高一丈七尺餘木體

八日不武尊ナリ古ハ森大明神ト稱シ同村能仁寺ノ山内ニアリ

鎮座ノ年月詳ナラス應永五年戊寅造営ノ棟札アリ元禄十

年丁丑朝香山ニ移シ是ヨリ更メテ朝香大明神ト稱ス毎年四

十月十九日九月十九日ヲ以テ之ヲ祭ル別當明正院 同國久慈郡長谷村大
先達盛藏院ノ末寺ニ

シテ修
験タリ

寺院

能仁寺 御朱印地ニ十石 妙林山尊法院ト号ス天台宗ニシテ同國阿

内郡黒子千妙寺ノ末寺ナリ本州巡礼所第十八番ニア

タレリ天寶中役行者初テ之ヲ開基シ血脉正法正圓正俊

三世傳フ其後澄圓之ヲ中興シ今ニ至テ三十四世ト云本

尊釋迦如來ヲ安ス外ニ十一面觀世音一軀ヲ藏ム文化

三年丙寅本堂火災ニカカリ再建未タ成ラス

長宏寺 御朱印地ニ十石 香林山ト号ス禪宗ニシテ遠州周知郡

中田村雲林寺ノ末寺ナリ應永三年丙子龍虎山ノ城主

但馬守平氏之建立レ開祖ヲ劫外長現ト云本尊釋迦如
來ヲ安ス

藥師如來堂 方南三間高一丈八尺餘

下手網村

地方東西十七町南北二十六町餘民屋百六十一戸水戸ヲ去ル
十二里十八丁四面平ニシテ山海ニ接シ東ハ高戸南ハ高
萩西ハ上手網北ハ赤瀆ニ隣ル

古城

松岡

古ノ龍虎山ト稱シ又龍狐山ト稱シ 上世何人ノ城ノヲヲ知ラス舊史
又三竈山ト稱シ又龍子山ト稱ス

天德中常陸介平就定之ニ居リ 赤瀆村北久保天神石
岡村天神西社ノ棟札

天德三年己未九月龍狐山城主

建久中手網太郎之ニ居リ

常陸介平就定勸請トアリ 元應中植田小四郎之ニ居

子大檀那手網太郎建立トアリ 應永ノ初ノ但馬守平

龍狐山城主植田小四郎建立トアリ 應永三年丙子香林

氏之之ニ居 院岳寺長宏寺ノ記文 應永三年丙子香林

同村鎮護神朝香明神ノ棟札ニ應永五年戊寅五月十日源兵庫亮基宗

藤原左京亮清信平但馬四郎氏之五郎左衛門貞俊四人ノ姓名アリ

接スルニ但馬四郎但馬守ノ子ナルニ父子同名ノ義ナシ疑ラク

棟札ニ當柳地頭里見源基宗寺岡平義之三人ノ姓名アリ里見ハ源兵

庫亮ナルニ寺岡ハ平但馬四郎ナルニ以テ其誤リ微スヘシ

同二十七年庚子大塚氏之ニ居ル 初同郡大塚村管侯ノ城

主大塚某男子ナシ元亨正中ノ間佐竹左衛門尉行義ノ四男
掃部助義成ヲ以テ嗣トス義成掃部助貞成ヲ生ス貞成男

予ナシ此ヨリ前三室偏安シ天下大ニ乱ル此時南北和義已成ル
 トイハトモ冥盟變シ易レ華山歸馬桃林ノ放牛何レヲ時ナル
 ヲ知ラス故ニ南朝ノ臣北條陸奥守六郎左衛門中條播磨守新三郎
 條伊勢守孫三郎皇孫常王殿ヲ護シ京師ヲ出テ山川ヲ跋歩シ
 應永二十三年丙申三月十五日管侯ニ来テ寓ス貞成大ニ喜ヒ
 私カニ女ヲレテ冥幣ヲ執ラシム攝將軍家ニ發泄センコトヲ恐レシ
 大塚ノ姓ヲ獻シテ義子ト稱ス龍虎山ノ城ヲ修シテ應永ニ
 十七年庚子八月十五日之ニ移ラシム初メ貞成ノ父義成北畠
 頭家卿ニ從テ岩城相馬白川ノ三子ト共ニ入洛シ其後南朝ノ
 正平四年己丑正月廿日北朝ノ貞和五ノ年ニアル楠正行ト共ニ骨ヲ河内ノ四

祭繩乎曝シ忠志ヲ南朝ニ盡ス故ニ

皇孫舊因テ思テ此ニ奉ルト云 皇孫常王殿一ニ常翁ニ作ル和音王翁通用姓

名及ニ覺年月詳ナラス照 道秀照鬼薄ニ文安四年丁卯九月廿九日大塚

兒薄ニ位山常王尊靈トアリ 輝山照鬼薄ニ輝山林公尊靈トアリ姓名ナシ

ト云者是ナランカ 應永 樂雄照鬼薄ニ姓名及年月ナシ樂雄照公尊

照鬼薄ニ大永元年辛巳十月十九日淨確禪定門大 大雄照鬼薄ニ天文元年

塚信濃守トアリ 應永 岳雄照鬼薄ニ永祿四年辛酉六月七日岳雄雲公尊靈大塚信濃守

雄長全尊 岳雄照鬼薄ニ永祿四年辛酉六月七日岳雄雲公尊靈大塚信濃守

天文十七年戊申四月六日棟札ニ當地頭大塚信濃守藤原政成 春雄年月詳

トアリ 應永 庚子去ル 百二十九年疑ラクハ岳雄ナランカ 春雄年月詳

一説ニ永祿二年己未二月十八日佐竹氏ニ從テ車ノ城ヲ攻メ戦死シタル梅

翁是ナランカ 説ニ元正元年登南十月朔日東丹波守ト戦一説ニ車夕齊ト戦外
覺 齊ノ夫ニ中テ死ス諸説何レカ是ナルヲ知ラス照鬼薄ニ永祿五年壬戌
九月六日雲継妙照尊雲春雄ノ御老母トアリ 梅スルニ雲継妙照ハ兵雄ノ夫

人ナリヘシ春雄永祿二年ニ死スル時ハ父母ニ先ツテ死スルナリ一説ニ位山常
王ノ子信濃守淨雄道清其子信濃守體雄其子信濃守岳雄其子信濃守梅雄一ニ梅
翁五世ニシテ己ノニ説執レカ是ナルヲ知ラストイヘトモ
照巻薄ニヨツテ徹スレハ八世ノ説ヲ以テ正トスヘシ 相傳テ八世龍

虎山ニ據ルコトニ永祿ノ初小山小次郎ト云者 永徳中上杉氏満
ニ滅ハサレル小山

ノ城主義政 漂泊シテ此地ニ来ル春雄哀レシテ之ヲ赤濱村ノ妙
夕遠孫也 法寺ニ寓セシム春雄薨ス子ナシ是ニ於テ老臣伊勢入道

長祐之ヲ佐竹家ニ許ヘ命ヲ假テ小次郎ヲ嗣トス菅侯ノ

城主掃部介隆成天ニ怒リ兵ヲ岩城左京大夫親隆ニ乞テ

龍虎山ヲ攻ム元龜ノ初小次郎父子及長祐ヲ殺ス親隆

ノ命ヲ奉シテ是ヨリ龍虎山ノ主トナリ自ラ信濃守ト号ス

春雄ノ嗣トナル 貞成老ニ及ニテ子アリ成義ト号ス成義行義ヲ生ス行

成道成ヲ生ス道成隆成ヲ生ス此ニ至テ六世ナリ 其

後 皇孫ノ胤ナキヲ哀レミ八世ノ靈ヲ祭テ衣冠寶蓋ヲ龍

虎山ノ項ニ座ノ之ヲ封シテ王塚八所権現ト称シ城ノ鎮護神

トナス後手綱街ノ北大高臺ノ中央ニ移シ一村ノ鎮護神トス

ト云明年隆成龍虎山ヲ以テ其子親成ニ譲リ山西ヲ鑿ツテ

溝トナシ橋ヲ架シテ要害トシニ男雅尾源六ヲ副テ是ヲ守テ

シメ巴レハ菅侯ニ老テ養フ 此時手綱高戸赤濱小野日糊栗野足洗井櫻

親成是ヨリ信濃守ト号シ天正ノ末ニ至テ猶之ニ住スト云コ、

ニ佐竹常陸介源義重岩城左京大夫平親隆競テ威ヲ逞シ年

トシテ新艾ヲ動オスト云フナシ義重嚮ニ隆成カ岩城ノ命ヲ

假リテ龍虎山ヲ滅セシヲ怒リ時ヲ以テ之ヲ并吞セントス一日友

那ノ城主小野崎昭通 初義昌ト号ス佐竹義篤ノ次男ナリ一ニ山直義昌トアリヲ前驅トシ未テ

龍虎山ヲ襲フ友部ノ兵ハ臼子山ニアリヨリ進ミ佐竹ノ兵ハ愛

宕岨ヨリ 伊師町ニアリ進ム事已ニ急ナリ此時親成岩城家ニ朝シ城

兵甚之シヨ、ニ親成ノ弟大藏成舜ト云者アリ天文中剃髮

シテ真言門ニ入り極樂寺空岸ト号ス 前キニ次男短尾源六ヲ副テ守ラシムトアリ按スルニ空

岸ハ源六ノ弟ナラシカ資性剛毅ニシテ浮屠ノ道ヲ事トセス常ニ弓馬ヲ

以テ業トス此日城中ニアリ僅カ五十騎ヲ率テ友部ノ

軍ヲ島名川ニ迎ヘ之ヲ伐ツ敵敗レテ上臺原ニ本松ニ

走ル空岸又佐竹ノ兵ヲ石瀧臺ニ破首ヲ斬事十餘級

義重意甚ク恙クミ三軍ノ士ヲ辱シメテ曰汝等平生弓

馬ヲ事トス而ノ一箇ノ頭陀ニ勝レ能ハス何ノ怯ノ甚キヤ

彼今清淨寂滅ノ徒何ソ六韜三略ヲ暗記セン我レ國ニ歸テノ

汝カ髮ヲ斬シ三軍ノ士且耻且激シ明日更ニ進ミ来ル空

岸軍ニ令レテ曰兵法ニ死地ニ入ラサレハ生ヲ求メカメシト云

リ汝等敵ニ接セハ空手ニシテ再ヒ還ルナカレ衆兵大

ニ激シ一能ク百ニ敵ス空岸嶋名ノ臺ニ陣シ自ラ敵ニ

アタル佐竹ノ兵散シテ合スル一能ハス小石川ニ走ル友部

ノ兵亦敗レ走テ佐竹ト兵ヲ合ス空岸兵ヲ制シテ追テ

許サズ退テ安良川ニ次ル親成岩城ニ在テ朝礼既ニオ

シテ此ノ危急ヲ聞テ大ニ驚キ兵ヲ岩城家ニ乞テ直キ

歸リ来ル城ニ入テ衆士ヲ撫シ且空岸カ勳勞ヲ賞ス空
岸懐ニトシテ樂マス親成ニ謂テ曰恨ラクハ吾レ身ヲ浮
屠ニ失レ敵ニ侮アル若頭ニ髮ヲ生セハ敵國何ソ我カ境
ヲ侵カンヤ辞氣慷慨人ヲ動カス時ニ天正二年甲戌九月
伊達大膳大夫藤原輝宗長尾越前守ヲシテ將トラシ
メ五千騎ヲ以テ富岡十部カ有ケル高貫ノ城ヲ攻ム岩城
左京大夫親隆関西ノ四將按スルニ西ノ字南ノ字ノ誤ナラシカ関ハ名古曾ヲカス大塚信濃
守親成車兵部大夫義秀白土長門守山小屋大高新左
衛門尉湯綱ニ命シテ之ヲ救ントス親成人トナリ大勇ニシ
テ武術四部ニ冠タリ故ニ前驅トラシメントス不幸ニシテ

病牀ニアリ因テ空岸ニ命ス空岸肯シセス親成カ曰敵ヲ
破テ四レ汝シニ還俗ヲ許シテ吾カ藩屏トナサシ空岸快然
トシテ行ク假ニ信濃守ト号シ四師ノ數ニ具フ軍ヲ次ル
三十五日四將密ニ議シ使ヲシテ長尾カ管ニ行テ謂シメテ
曰昨龍虎山ノ主信濃守病ニ因テ死ス請フ高貫ノ城ヲ獻
セン滿城ノ士憐ニテ之ヲ怒セヨ長尾氏信セス使者再三終
ニ信ス因テ使者ニ謂テ曰大将富岡ヲシテ劍ニ伏サシメヨ滿
城ノ士誓テ眾ヲ加ヘシ明日使ヲシテ城ニ入テ檢セシメン使
者管ニ還テ復命ス四將大ニ喜ヒ其夜私カニ長尾カ管ヲ
襲ントス假信濃守空元師タリ車白土左翼右翼タリ大

高尾へニアリ布ヲ以テ鐵衣ニ結ヒ之ヲ標トシ精兵五千餘人
鼓噪シ進ミ遂ニ火ヲ管ニ放ツ高貴ノ兵百餘人亦因シ
テ出ツ長尾ノ兵根根シテ所ヲ失シ謀ヲ出ツヘキナシ須臾
ニ傷ク者無數大将長尾已ニ傷ツイテ且危シ柴田某擔ツ
テ走ル遂ニ敗績ス四将管ニ回テ師ヲ劣ス此夜首ヲ斬ル
一千百餘級糶糧ヲ取テ之ヲ高貴ノ城ニ輸ス大高新左
衛門尉ヲ以テ之ヲ岩城親隆ニ告ク親隆大ニ嗟嘆シ其勲
ヲ賞シテ大塚家ニ百貫ヲ賜フ龍序山ノ村地本九百貫ナ
此ニ至テ十貫トナル親成
空岸カ切ヲ稱シ且諭シテ曰先人嘗テ汝ニ命シテ縉流トナ
ス今復タ還俗セハ是先人ノ命ヲ廢ルナリ然リトイヘトモ

嚮ニ我レ汝ト誓フ馬追フ能ハス請フ汝ヲシテ僧俗ノ間ニ處

ラシメシ是ニ於テ道士トナス空岸喜ンテ命ヲ拜ス是ヨリ石

岡村ニ住スト云子孫世々相傳テ氷川大神社ノ別當タリ
今重ニ院ト号シ又極樂寺ト号スヨミニ岩城左

京大夫平親隆元龜天正ノ間ヨリ四隣ヲ蠶食シ親成ヲレ

テ南地ヲ侵サシム多河久慈ニ郡ノ主降ヲ乞者許多是

ニ於テ岩城ノ武威焰トシテ火ノ原ニ燎ルカ如シ遂ニ大田

ノ城ニ逼ル佐竹義重大ニ怖レ和ヲ乞テ石名阪ニ會盟シ

森山以北ノ地ヲ獻ス親隆大塚親成カ切ヲ賞シテ之ヲ賜フ南

ハ本林山ノ小車ヲ以テ界トス天正十四年丙戌佐竹右京大夫

源義宣羽生田ニ陣シ南摩藤十郎ヲ殺ス是義宣初同十
度ノ役也

二年成子佐竹父子義重北地ニ陣ス此時岩城親隆已ニ薨ニ
其子常隆嗣トナル人トナリ懦弱ニシテ老臣白土志賀権ヲ
競ヒ初テ乱ラ兆ス大塚親成ニ家ノ間ニ孤立シテ自ラ慮
ルニ全スルヲ能ハス故ニ東中務太輔ニ因テ私カニ佐竹家
属ス佐竹父子喜ニテ之ヲ許ス此時ニ家六北川ニ戦フ親
成旗ヲ交ヘシテ岩城ノ陣ニ向フ岩城常隆大ニ敗ト車義
秀兄弟印庭ニ於テ戦死ス是ニ於テ親成龍席山ヲ隆通
空岸ノ子此ヨリ前岩城氏命ニテニ讓リ菅侯ニ老ヲ養ヒ依山殿ト
親成ノ嗣トス親成子アキカ故也
号ス 晩年ニ及ニテ要孕ムヲアリ男子生
助兵衛ト号ス慶長中岩瀨ニ居ル 隆通佐竹家ニ請テ曰吾先
義成ハ行義公ノ支流タリノ義成ハ佐竹行義ノ四男ナリ元亨中
間大塚常ニ養ヒテ嗣トナル 請

今ヨリ源姓ニ復セン佐竹父子之ヲ許ス同十七年己丑伊達
政宗須賀川ノ城ヲ攻ム城主ニ階堂氏ノ母ハ佐竹義重ノ姉
ナリ佐竹氏兵ヲ遣ワケ之ヲ救フ大塚信濃守ノ元師雉
尾源六之ニ死ス世ニ稱スル岩瀨陣之ナリ同十八年庚寅
佐竹義宣東政義カ策ヲ用テ猛將江戸但馬守藤原重
通ヲ殺シ水戸ノ城ヲ取ル四隣皆慄ル此年太閤小田原ノ
城ヲ攻ム隆通佐竹氏ニ從テ小田原ニ向フニ臣豊間左
京長固修理之ニ死ス一説ニ臣岩瀨ノ役ニ死スト非ナリ 文祿中佐
竹左中將義宣大閤ノ寵ヲ得テ常陸ノ大都督トナリ南三十
ニ館ヲ并ス北ハ岩城ニ逼リ西下野及奥州棚倉石川ニ至リ百

萬石ト稱ス第貞隆ヲシテ岩城氏トシ二十萬石ヲ兼有シ合シテ百
 二十萬石ト稱ス龍虎山ノ村内安良川高萩ハ木ヨリ驛路ナリ
 岩城貞隆佐竹朝スルヲ以テ之ヲ休息ノ地トシ安良川ノ支衛_{ヨリ}
 新館ヲ築キ是ヨリ岩城ノ村地ニ屬セシム慶長九年庚子信濃
 守隆通佐竹義直ノ命ニヨツテ奥州比佐ニ遷ス隆通墳墓及木三箇
川東漸寺ニアリト
云隆通ノ罪人ニテ知ラナレ義直有恙ヲ思者カ慮テ
ニ十七年庚子ヨリ百八十年ニシテ國除ス 同年奥州植田城主梶原
 美濃守之ヲ兼有シ其臣梶原甚三郎ヲシテ之ニ居ラシムル
 三年 美濃守ハ太田道灌ノ子孫太田三樂齊ノ嫡子ナリ第五郎五衛門ハ下野州武
茂城ニ封セラレト云慶長七年壬寅佐竹氏封ヲ羽州ニ移ス梶原氏後ヲ零落
スト 同七年壬寅九月戸澤右京亮藤原政盛同國小川ヨリ封ヲ
 此ニ移ス四萬八
千石 安良川ノ新館ニ有テ同國久慈郡長谷村光達祐

眼 額田城主下野
守照通ノ子 命ニテ日ヲ撰ヒ龍虎山ヲ祭ラシメ不祥ヲ赦除ス城
 郭修理三年ニシテナル同十年乙巳二月再ヒ祐眼ニ命レ預シメ火
 災ヲ赦除セシム是ヨリ政盛移居レテ更メテ松岡ト稱ス是ニ於
 テ祐眼ニ百五十石ヲ賜ヒ世ニ祈禱ヲ掌ラシム猶北街渡辺内匠
 邸ヲ賜朝スルニ當テ是ヲ休息ノ地トス元和八年壬戌八月戸澤
秀按台命ヲ蒙リ云
ト書シ此非ナリ 氏封ヲ羽州新莊ニ移ス慶長壬寅ヨリ此
ニ至テ二十一年 同年十二月台命ヲ蒙リ中
 山東市正信正城地トナル地形高平ニシテ南ニ郭アリ北溝アリ又
 谷ニ接ス

小島山 龍虎山ノ南ニアリ古ハ小島某ノ邸ト云子孫小島姓ナル者セシ
 山川

リ世教詳ナラス

土産

線尊

神社

大塚大権現社方面四尺高一丈五尺木體八皇孫八世ノ靈ナリ四月九日

十一月十七日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當寶昌院 同國久慈郡長谷村大光建密藏院ノ末寺ニシテ候

驗タリ

寶物

感状二通 御土作山官次所藏其文左ニ載ス

秀梅廣作ナルベシ

竹下合戦

下手綱村作山官次郎藏

今十二日卯刻合戦吉山平七郎

首討取之孫ノ貴方抽以神妙云

下野國化山十河江宛行之者之

仍乃女伴

建武貳年

十二月日

義助

西

化山三郎廣一

一於徳川城今八日卯ノ刻合戦村田平八
生捕等侍口人首討神如変生捕若ハ
軍奉行大了新五郎陣不可お渡急者之
首數若敷ノ後實檢上君賞ハ重可充行
考や河方め件

永祿二未八月ノ道隆

化山平六ノ宗

寺院

大高寺御朱印地二十石
外ニ免除地アリ萬徳山遍智院ト号ス真言宗ニシテ山城國醍

醐報恩院ノ末寺ナリ木州巡礼所第十七番ニアタレリ古ハ寺綱

臺ノ大高名地ニアリ長祿中鏡鑑之ヲ中興シ文祿三年甲午

心蓮内父田ニ移スト云木尊大日如來ヲ安ス

千手觀世音堂 方面三間高ハ二丈五尺餘

源福寺免除地アリ塩澤山地藏院ト号ス真言宗ニシテ同村大高寺末

寺ナリ元祿十年丁丑惠探之ヲ開基スト云木尊地藏菩薩

ヲ安ス

藥師如來堂 方面二間高ハ二丈

接引寺

先儒地アリ

助雲山雙樹院ト号ス浄土宗ニシテ奥州岩城平矢目村

如來寺ノ末寺ナリ南運社良木是ヲ開基スト云文祿中火災

ニカ、リ舊記ヲ失ス故ニ年月詳ナラス本尊阿彌陀如來ヲ安ス

古蹟

館坊

龍席山ノ南ニアリ數尺ノ丘タリ地方東西百七十間餘南北

百四十間餘四面盡ヲ田疇ナリ建久中手綱太郎之ニ居ト云

秋山村

地方東西一里三十町餘南北一里餘民屋百十二戸水アラ去ルト十

二里十丁西南ニ山アリ東ハ平ニシテ島名ニ接シ南ハ山部西ハ

福平島曾根北ハ上平綱高萩ニ隣シ延享二年乙丑五月九日烈

風暴雨雷電甚シ上流ノ山ニ一時水ヲ漲ラシ洪水氾濫天没

ル民屋之カ為ニ漂流シ人馬之カ為ニ溺死ス下流ノ村ニ田圃ニ砂

ヲ堆ス是ヨリ前キ野ニ平ラ坪伊兵衛ト云者嘗テ牝馬ヲ養

フ農隙ニ之ヲ野ニ放ツ一日忽チ四角ノ駒ヲ乳ス渾家見テ畏

怖シ且不祥トシ私カニ之ヲ滑瀧名ニ沈ム土俗ノ説ニ此馬崇リテ

ナス故ニ此洪水アリト云

山川

湯澤

古ハ温泉出ツ故ニ此称アリ此水ヲ汲テ浴桶ニ熱シ之ニ浴スレ

ハ濕痰疝氣ヲ醫スト云享保二年丁酉之ヲナス者アリ一萬五百

餘人未テ浴ス

沸泉

土人誤テ瀧ト稱ス瀧ニ非ス田間竹林ノ下ヨリ湧出ス方面四

五尺許下流ヲ瀧シテ伊師町山部兩所ノ間トス其餘花貫川入

土産

蜜柑

柳 此村産ヲ以テ上品トス味甚タ美ナリ

燃土 其色黒シテ堅キヲ岩ノ如シ土人クシドシ岩ト云之ヲ焼ケハ真

氣甚シ

玉石 安永天明ノ間八右衛門八郎兵衛ト云者玉ヲ得タリ寛政

元年己酉八月農民祐藏カ奴隷利助ト云者板木山ニ入テ薪ヲ

採ル璞ヲ得タリ携ヘテ玉人ニ示ス玉人曰玉ナリ再行テ其地テ掘

ル又水晶ヲ得タリ其後得ル者ナシ

神社

兼殿大明神社 方面二尺二寸高サ一丈本體ハ大山祇神大山姫命ナ

リ鎮座年月詳ナラス毎年十月十日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當大光院 同國久慈郡長谷村大光達密藏院ノ末寺ニシテ修

験タリ

寺院

慈眼寺免陸地アリ 宮田山圓覺院ト号ス真言宗ニシテ下手綱村大高寺ノ

末寺ナリ正徳三年癸巳國嶼之ヲ開基ス本尊藥師如來ヲ安ス

島名村

地方東西十二町餘南北二十五町餘民屋九十一戸水戸ヲ去ル
十二里四面平ニシテ山海ニ接セス東ハ石瀧安良川南ハ伊
師町山部西ハ秋山北ハ高萩隣ル

土産

密柑

同神社

鏡大明神社免除地アリ 縦三尺四寸横二尺八寸高廿二尺木體

十一面觀世音ナリ 鎮座ノ年月詳ナラストイハトモ文明

拾六年甲辰造管ノ棟札アリ

別當常泉院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末

寺ニシテ修驗ナリ

寺院

徳乘院免除地アリ 高德山開林寺ト号ス真言宗ニシテ下寺綱村大高寺

ノ末寺ナリ 範譽之ヲ開基ス年月詳ナラス木尊大日如來ヲ

安ス

寶物

大高氏感狀一通 子孫農民平次右衛門所藏其文左載ス

贋作ナルベシ

竹下合戦

島名村大高氏平次為藏

一首

十六

氏茂押賞摸山備前國八景
恩賞可充行者也

仍如件

建武二年

十二月十三日

足利高經

印

大高成貞及

古蹟

小屋

山頭平地アリ東西十三間餘南北七八間古極樂寺空

岸佐竹氏及山直義昌ヲ拒ク時マニ營ヲ築ト云山下ニ磴アリ北

十間餘東ハ陰ニシテ西ノ中等ニ磴アリ東南西ノ三面ハ盡ク田疇



土人小屋ト称ス

安房村

地方東西二十五町南北九町餘民屋百四戸水戸ヲ流テ十二里東

ハ海ニ接シ南ハ石瀧島名西ハ秋山北ハ高萩ニ隣ル古ハ荒川ト称

シ海ニ傍ラテ市井ヲナシ地鏡カニ民富メリ之ヲ松原千軒ト云然

ルニ逆浪屢ニシテ民屋之カ為ニ流失ス因テ地ヲ此ニ移シ更テ安
良川ト称ス東粵往來ノ驛路ナリ

山川

花貫川 廣サ七八間水深キヲ常ニ二天水滲ハ大能馬坂兩所

ヨリ出ツ米平中戸川ヲ過テ鳥曾根ニ至リ合シテ一トナリ秋

山島若ヲ過テ此ニ至ル板橋アリ廣サ九尺長サ十二間石瀧安

良川ノ界ヲ過テ海ニ入ル

土産

松茸 線茸

神社

八幡神社 御果印地 四十九石 縦ニ間半横ニ間高サ三丈六寸本體應神天皇日

女大神 神切皇后ナリ 人皇六十五世

花山院ノ朝鞍馬寺ノ修多羅大徳権輿藤原左京大夫 初

ヲ奉シテ男山ニ詣リ恭敬シテ國家ノ永久ヲ祈ル精誠ノ餘蒸

蒿棲槍勢方髻トシテ見ルヲアルカ如シ神之ニ謂テ曰夫東夷

ハ風俗淳ナラス狡黠多シテ兵革ノ地ナリ 勝是ヨリ東海ニ岸

テ朝廷ヲ護シテ天ノ寶命ヲ墜スヲナク兆民ヲシテ無疆ノ福

ヲ被ラシメシニ人再拜稽首シテ去ル朝ニ回テ奏シ 勅ヲ奉

シテ比松原郷ニ移シ社ヲ經營ス時ニ寛和九年乙酉三月十日ナ

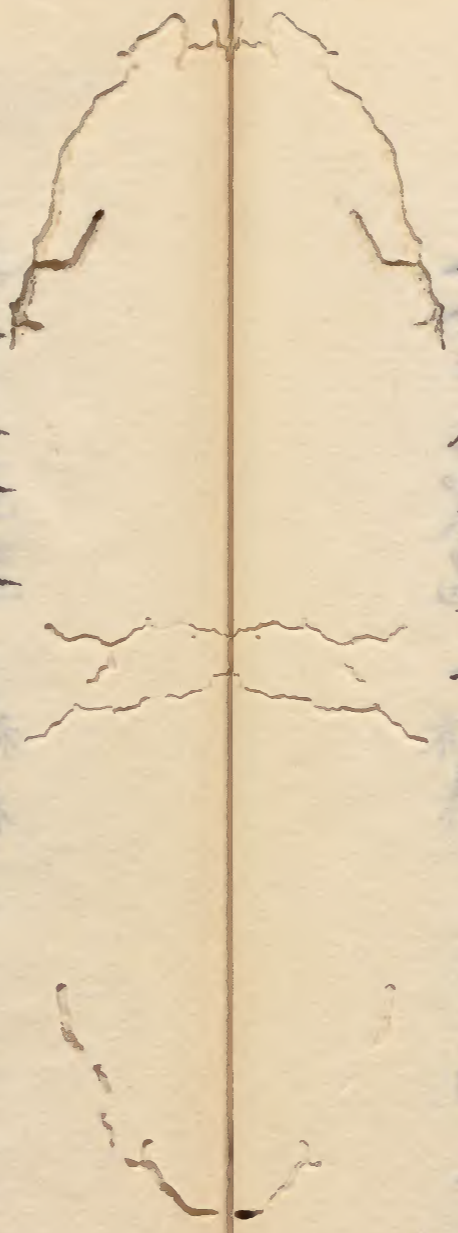
リ其後康平五年壬寅 寛和乙酉ヨリ此ニ至テ七十八年 頼義卿父子粵州ヲ征

伐不往來十二年ニシテ暴虜盡ク滅ス義家郷路此ニ過テ
社地二百町ヲ寄附シ今谷地移スト云毎年八月十五日九月九日ヲ
以テ之ヲ祭ル

寶物

鐵扇 一柄 八幡太郎義家郷獻ス
日ノ丸旗一卷 佐竹義篤獻ス
獅子頭一頭 同前
笛 一握 山直義昌獻ス
甲冑 一領 戸澤右京大夫獻ス

大官司 鈴木筑前守



社家 大森右格

齊藤兵部

寺院

玖臺寺

免除地アリ

川克山ト号ス禪宗ニシテ上手綱長宏寺ノ末寺ナリ重

山之ヲ開基ス年月詳ナラス本尊釋迦如来ヲ安ス

古蹟

古館

地形東南ハ高クシテ下ニ磴アリ西北ニ溝ヲ統ラス上面平

ニシテ東西八十間餘南北五十間餘古ハ源頼義郷執政ノ時宇佐

美左衛門尉時景ト云者郡代トシテ居ルト云享和二年壬戌水戸郡

奉行ノ廳トス今又廢ス

古邸 古ハ岩城貞隆伍竹家ニ朝スルヲ以テ之ヲ築キ休息ノ地トス
慶長中戸澤氏松岡ニ移ル日此ニ在テ城郭修理ヲ俟ツト三年
此地南ニ橋アリ高サ七八間東西五十間餘今ハ盡ク民家田疇ト
ナル

高萩村

地方東西一里許南北九町餘民屋百七戸水戸ヲ去ルト十二里餘
東ハ海ニ接シ南ハ安良川島名西ハ秋山上午綱北ハ下午綱高戸
ニ隣シ古ハ松原千軒ノ内ニシテ漢人多シ民家安良川ニ連絡
シテ東粵往來ノ驛路ナリ

神社

瀧原神社 免除地 方面四尺高サ一丈二尺木體瀨織津姫命ナリ鎮

座年月詳ナラス毎年四月八日ヲ以テ之ヲ祭ル

社主 瀨谷大和 成沢村ニ住ス

寺院

真福寺 免除地 宝瀧山宝藏院ト号ス真言宗ニシテ下手綱村大

高寺ノ末寺ナリ 應永二十年癸巳弘乗之ヲ開基スト云本尊

阿弥陀如来ヲ安ス應徳中 松原千軒末々滅ヒス漢者アリ一日

海ニ漢ス物アツテ綱ニカニル之ヲ取ルニ佛ナリ推テ鷹渡濱ニ棄

ツ應永癸巳弘乗之ヲ向フ坊名ニ安ス其後此ニ移スト云

薬師如来堂 方面三間高サ二丈餘

高戸村

地方東西十四町許南北十町餘民屋百二十二戸水戸ヲ去ル十二里八町東ハ海ニ接シ南ハ高萩西ハ下宇綱北ハ赤濱ニ隣ル東真往來ノ驛路ナリ

山川

川 関根川ノ下流ナリ此ニ土橋ヲ設ケテ往來ヲ便ス廣ハ二間長

十二間

岩山

海岸ニアリ潮山間ニ來去ス延享四年丁卯開テ湊泊ノ所

トナサントス成ラス遂ニ止ム

大サクロ

小サクロ

海ニニツノ磯アリ土人大サクロ小サクロト称ス大サクロハ

海岸ヲ離ル、一里許南北一里許東西五六町許小サクロハ海

岸ヲ離ル、一十町餘横八九間長ハ二十間許諸州ノ船過ル此

險ヲ知テ避クト云享保中海士ヲ伊豆州ヨリ召喚^ス莫ヲ取ラシム海

士一日海ニ入ル出テス羊日ニシテ出ツ一ノ鰻魚ヲ抱ク大サ尺餘人

其故ヲ問フ答ヘス傍人ヲ戒メテ曰鰻魚ヲ取ル、勿レ既ニノ上宇綱

村能仁寺ニ行キ僧トナル

佛像

岩下釋迦 岩下坪^{在地} 岩山ノ中ニアリ長サ五尺横四尺餘何人ノ作

ルヲ知ラス

神社

瑠汰大明神社 縦二尺五寸横二尺八寸高一丈餘永和年乙卯

十一月十五日下総州千葉氏ノ族平重正ト云者来テ下手綱

ノ館今ノ館居ル子アリ手綱太郎ト云建久中龍虎山ニ手綱太郎ト云者居ル按スルニ建久

元年庚戌ヨリ永和元年乙卯ニ至テ百八十六年是ト別人ナラシカ或ハ姓名誤リヲラン妙見大菩薩ヲ以テ守護

神トス是ヨリ前キ近江州佐々木氏ノ裔孫落合小太郎別當玄光

院ノ祖ト云者此ニ来テ寓ス後修験トナリ小衡院ト号ス山林

ヲ賜テ之ニ居ラシメ手綱家ノ祈禱ヲ掌ル手綱家衰テ

後妙見社モ從テ壞ル故ニ小衡院ニ移ス永正三年丙寅三月

永正卯ヨリ是キ高戸一村ノ鎮護神トシ更メテ瑠汰大明神

ト称ス天正二年甲戌伊達輝宗岩城ノ封内高貫ノ城ヲ圍ム龍虎

山ノ城主大塚信濃守親成岩城ノ命ニ應シテ師ヲ出ス小衡院

前驅タリ此夜大塚氏夢北斗ヲ拜ス按ニ此時親成病アリ空岸ヲシテ

師ヲ出ス夜夢ニ北斗ヲ拜スル者ハ空岸ナランカ且親成病妙見ノ字雲間ニ影方

狀ニ在テ夢ミルカ下章ニヨレハ夢タリ者ハ空岸ニ似タリ

驛タリ光リ金色而シテ告テ曰汝勉メヨ此役マ敵ヲ盡シテ回ラン

忽然トシテ驚キ覺ム大塚氏再拜シテ出ツ果ノ敵ヲ破ワテ回ル

因テ小衡院ニ山号ヲ賜ヒ勝軍山城岸寺ト称ス永樂錢三貫文ヲ

以テ寄附ス岩城氏ニ貫文ヲ以テ寄附スト云毎年四月八月十一月十

五日ヲ以テ之ヲ祭ル
別當玄光院同國久慈郡長谷村大光達密藏院ノ末寺ニシテ修験タリ

寺院

寶地院

免除地アリ

高野山高山寺ト号ス真言宗ニシテ下手綱村大高寺ノ

末寺アリ文明十二年庚子鏡雅之ヲ開基スト云本尊大日如來

ヲ安ス

赤濱村

地方東西三十町南北二十八町餘民屋七十三戸水戸ヲ去ル

一十三里餘東ハ海ニ接シ南ハ高戸下手綱西ハ上手綱北ハ

小野矢指日棚ニ隣ル東粵往來ノ驛路ナリ

土産

線導

松露

神社

七面大明神社

免除地アリ

縦三間横三間半高カニ丈餘鎮座年

月詳ナラス天和三年癸亥一村ノ鎮護神トス毎年九

月十九日ヲ以テ是ヲ祭ル

別當願成寺

兼テ之ヲ掌ル

寺院

願成寺

免除地アリ

松塚山堅能院ト号ス法華宗ニシテ同國久

慈郡稲木村久昌寺ノ末寺ナリ嘉元元年癸卯日蓮

ノ弟子日辨之ヲ開基スト云祖師日蓮ノ像ヲ安ス

古蹟

上宿 地方東西三町餘南北一町許松岡ノ東北ニアリ相
去ル一二町餘地面高キヲ以テ此称アリ 戸澤氏在城ノ
日諸士ノ宅ヲ置ト云東ノ左右ニ牆アリ 高サ六七尺長サ
十一間北ハ谷ニ接シ又溝アリ廣サ一丈二三尺深サ七八尺長
サ一町餘

彈正屋敷 戸澤氏在城ノ日老臣ノ宅ナリト云

古墳 願成寺ノ開祖日辨 奥州櫻ノ馬場ニ於テ賊ニ殺サ
ル弟子遺體ヲ比ニ葬リ樹一株ヲ以テ標トス其樹數圍

ニシテ今猶存ス 小野矢指

小野矢指

古ハニ村ナリ後世合シテ一トス地方東西二十二町許南北七

町餘民屋八十九戸水ヲ去ル十三里拾八丁東ハ海ニ接

シ南ハ赤濱西ハ日棚北ハ粟野ニ隣ル此村及足洗村ノ俗

莫ヲ食セスニ村ニ産ル者ハ後他ニ出ツトイヘトモ終身食セ

ス食スレハ惡疾ヲ生スト云故ニ石決明 鯢ノトイヘ氏家ニ入

ル、一ヲ禁ス土俗ノ説ニ鎮護神塩竈明神之ヲ齋ト云明

社ハ足洗
村ニアリ

山川

川 其名傳ハラス水源ハ日棚村ノ山中ヨリ出ツ廣サ七八間

常ニ水深キ一六七寸ヨリ尺ニ至ル板橋アリ廣サ九尺長サ十

二間

土産

松露 線草 山ト治草

經ノ紐 土人キマウノヒモト称ス海草ナリ味噌ヲ以テ之ヲ烹

食スレハ痢疾及ヒ泄瀉ノ病ヲ治スト云々 諸村ヨリ出ト

トトモ此村ノ産ヲ以テ第一トス

俳諧歌

サトノナモヤサシヤカサニオチワハキ 誰人ノ詠スルヲ知ラス土人

相傳ヘテ之ヲ誦ス

栗野村

地方東西二十二町南北二十九町餘民屋三十三戸水戸ヲ去ル
十三里十九町東ハ海ニ接シ南ハ小野矢指西ハ日棚北ハ松井
足洗ニ隣ル

土産

松草 線草

神社

静大明神社 方面三尺高カ一文鎮座年月詳ナラス毎年

十一月六日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當千手院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末寺

ニシテ修驗タリ

千手觀世音堂免除地アリ 方面三間高十二丈餘造管年月詳
ナラス本州巡札所第十九番ニアル

別當同前

寺院

成就院免除地アリ 若官山八幡寺ト号ス真言宗ニシテ大塚村西明

寺ノ末寺ナリ開基年月詳ナラス本尊地藏菩薩ヲ安ス

藥師如來堂 方面九尺高十二丈

寶物

舟生氏感状一通 子孫農民傳以右衛門所藏其文左載

履作ナリ

栗野村舟生氏傳以右蔵

ト夜始る亦お持以平

家ニ汝居辛勞く汝忠信亦

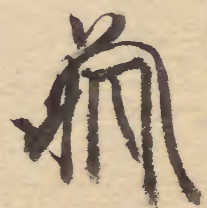
生字下賜八嶋一戦無事申之

以神事以仍如件

文治元

三月廿九日

妻

梶原景時 

平生備中方夏

日棚村

地方東西二里餘南北十七町餘民屋七十八戸水産ヲ去ル
十三里餘東小野矢指栗野南上手綱赤瀆西北八松并上
手綱隣ル

土産

線草

青土白土

共石少場坪

地ヨリ出ツ陶工器ヲ作ル此土ヲ以

テス工人往々是ヲ業トスル者アリ

神社

若一王子大権現

免除地アリ

文明十年戊戌四月初ヲ是ニ鎮座ス

棟札アリ文字己ニ盡テ生ス毎年四月八日十月十八日ヲ以テ

之ヲ祭ル

別當覺衆院

同國久慈郡長谷村大光達密藏院ノ末寺

ニシテ修驗タリ小野矢指村ニ住ス

寺院

源東寺

御朱印地
二十石

寶臺山ト号ス禪宗ニシテ同國那珂郡額

田村麟勝院ノ末寺ナリ元應元年己未宗轍之ヲ開基シ

龍席山ノ城主植田小四郎

法名寶臺
源公居士

女ノ為ニ伽藍ヲ造営ス

ト云其後再ヒ火災ニカリ廢寺トナル文明元年己丑宗顯

之ヲ中興スト云木尊阿弥陀如來ヲ安ス

古蹟

堂平

此地多ク石ヲ産ス色淺黒大ナル者二尺四五寸磨セス

シテ礎トナスヘシ古ハ千手觀世音ノ堂アリト云遺蹟猶

存ス方五六間四面ニ礎アリ又東西北往々ニ礎アツテ壘

タリ今ハ蓋ク原野トナル

中ノ郷十四ヶ村

松井村

地方東西一里五町許南北十三町餘民屋六十戸水ヲ去

ル十四里東ハ福寫上櫻井足洗南ハ日棚粟野西ハ横

川若栗上手網北ハ石岡ニ隣ル此村古ヘヨリ水ニ乏シ夏至

ノ時ニアツテ旱ヲ患フ寛文八年戊申村長執員後ニ主之
計ト云之

ヲ謀リ瀧澤カロフ澤ヨリ渠ヲ鑿ツ長十三里八町餘常ニ

水ヲ蓄シ時ヲ以テ田ニ灌ク此ヨリ後此村及日棚粟野石岡

小野矢指足洗ノ諸村旱ノ患ナシ其切ヲ以テ新田九石

七斗餘ヲ賜ヒ長ク稅ヲ収メス子孫勝藏ト
云者今猶存

蜜柑

土産

神社

丞殿大明神社免除地アリ 方面三尺四寸高十一丈四及本體武

獲槌命ナリ鎮座年月詳ナラス毎年十月十日ヲ以

テ之ヲ祭ル

別當重ヶ院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ

末寺ニシテ修験タリ石岡村ニ住ス

寺院

東林寺免除地アリ 松井山自性院ト号ス真言宗ニシテ下手綱

村大高寺ノ末寺ナリ應永二年乙亥十月隆鏡之ヲ開基ス

ト云木尊釋迦如来ヲ安ス

藥師如来堂 方面三間高十二丈餘

福島村

地方東西五町餘南北九町許民屋十三戸水ヲ去ルト十

四里三町地僻ニシテ山海ニ接セス東北ハ上櫻井西南ハ石岡

松井ニ隣ル古ハ島崎ト称ス寶曆十三年癸未更メテ

福崑ト称ス

神社

御塚大権現社 方面二尺五寸高十一丈餘本體日靈尊

ナリ鎮座年月詳ナラス毎年九月廿八日ヲ以テ之ヲ祭ル
社主篠沼権太夫木皿村ニ住ス

古蹟

中城地高シテ上ニ三等ノ平地アリ南ノ郭東西五十間餘南北二十間餘中ノ郭東西三十間餘南北三十間餘北ノ郭東西二十間餘南北三十間餘ト称ス東北ノ羊腹ニ磴アリ四面盡ク田疇ナリ西方山ニ接ス

足洗村

地方東西八町餘南北十六町許民屋八十戸水戸ヲ去ルヲ十
四里東ハ海ニ接シ南ハ粟野西ハ松井北ハ上下櫻井ニ隣ル
古ハ海ニ傍フテ市井アリ後此ニ移ル小野矢指ニ連絡シテ

奥州往來ノ驛路クリ隘村頗莫ヲ食セス事ハ小野矢指ノ條ニ載ス

土産

松茸

神社

塩竈大明神社 方面四尺高ハ一丈二尺應永十二年乙酉四

月朔日奥州ヨリ移ス當時粟野ノ地ニアリ元祿中此地

龍爪ヲ出ス故ニ同年乙亥四月再ヒ此ニ移シテ飛龍山ト

号ス足洗小野矢指ニ村ノ鎮護神タリ道路ノ西ニアタ

ツテ山ノ羊腹ニアリ毎年十一月十日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當覺乘院同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末寺

ニシテ修験タリ 小野矢指村ニ住ス

寺院

東泉寺 免除地アリ 道場山閣魔院ト号ス真言宗ニシテ大塚村

西明寺、末寺ナリ開基年月詳ナラス木尊大日如來ヲ安ス

地藏堂 方面三間高ハ二丈

上櫻井村

地方東西十三町南北十六町許民屋七十三戸水戸ヲ

去ル一十四里餘古ハ一村タリ寛文十二年 壬子上下

二村ニ分ツ地平カニシテ山海ニ接セス東ハ下櫻井南ハ

足洗松井西ハ福寫石岡北ハ木皿豊岡白庭ニ隣ル

土産

紙

神社

鹿嶋大明神社方面五尺高ハ一丈五尺木體武甕槌命

ナリ天喜元年癸巳同國鹿寫ヨリ此ニ移ス上下櫻井

二村ノ鎮護神タリ 毎年正月六月九月共ニ望日ヲ以テ

之ヲ祭ル

別當行藏院 同國久慈郡長谷村大光達密藏院

、末寺ニシテ修験タリ磯原村ニ住ス

地藏菩薩堂 免除地アリ 方面三間高ハ三丈古ハ瀧権守義

基ト云者島崎福今ノ館ニ居ル其常陸坊義演道

士トナル瀧氏滅シテ後義演ノ子孫海藏坊義行櫻井

ニ堂ヲ營ミ此像ヲ安ス弘法大師ノ作ト云時ニ元仁元年甲申ナリ

義演ヨリ今ノ海藏院ニ至テ三十五世ト云

別當海藏院同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末寺

ニシテ修驗タリ後同國原宮ニハ此寺ノ工不詳ナリ

古蹟古蹟ニハ高野山ノ説ニハ本願寺ノ末寺ト云

櫻井古井アリ徑リ三尺許深ク九尺許土人櫻井ト稱ス枕

ハ形猶存ス塵埃之ヲ埋ム此村中江以北井ナシ新ニ堀レ

ハ變ヲ生スト云古歌アリリメハウククマ子ハツコニカケウ



ツルアラオモシロヤカクヲ井ノミツ何人ノ詠スルヲ知ラズ一説

ニ夢窓國師薄葉ノ地ニ拭錫ノ日之ヲ詠スト一説ニ義家

郷奥州征伐ノ日之ヲ詠スト孰レカ是ナルヲ知ラス

下櫻井村

地方東西九町餘南北二十二町許民屋五十六戸水戸ヲ去ル

十四里餘東ハ海ニ接シ南ハ足洗西ハ上櫻井北ハ白庭磯原

ニ隣ル大北川ヲ界トス奥州往來ノ驛路ナリ

白庭村

地方東西七町餘南北六町許民屋二十七戸水戸ヲ去ル

十四里十丁地平カニシテ山海ニ接セス東南ハ上下櫻井

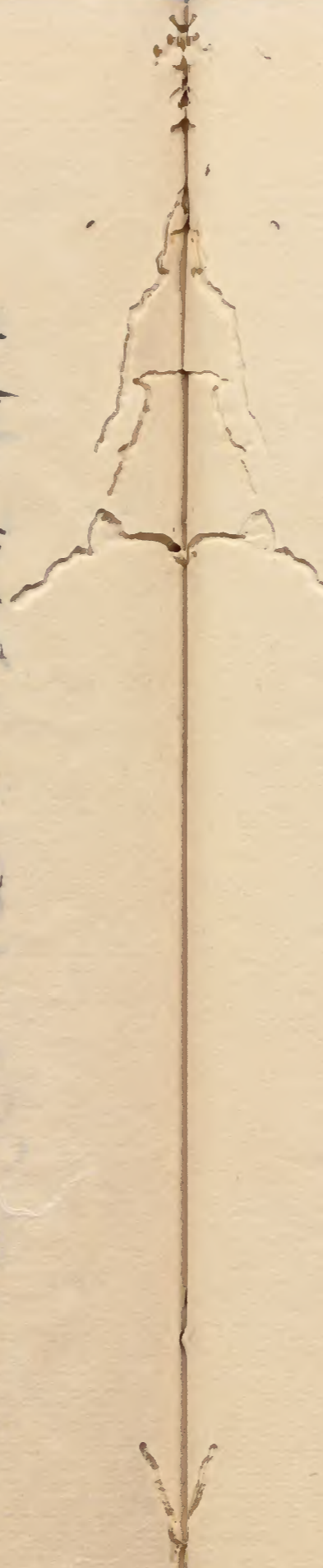
大北川ヲ以テ界トス 西ハ豊田上薄葉^他領北ハ磯原ニ隣ル奥州往來ノ驛路ナリ古ハ薄葉村ト称ス元和中上下二村ニ分ツ寶曆十一年辛巳更メテ白庭村ト称ス

山川

大北川一ニ白庭川ト称ス廣サ十五六間ヨリ二十間ニ至ル水深キヲ常ニ一二尺ヨリ三尺ニ至ル水源ハ花園山^他領上君田兩所ヨリ出横川石岡上櫻井ヲ過テ合シテ一トナル磯原ヲ過テ海ニ入ル

神社

諏訪大明神社 社縦四尺三寸横四尺高サ一大四尺木體大已



貴命ナリ 治安元年辛酉此ニ鎮座ス毎年正月二十七日七月二十七日ヲ以テ之ヲ祭ル

社主篠沼権太夫木皿村ニ住ス

寺院

大悲寺^{免除地アリ} 白鷺山觀音院ト号ス天台宗ニシテ東叡山ノ末寺ナリ開基年月詳ナラス堅長之ヲ中興スト云本尊阿弥陀如来ヲ安ス

正觀世音堂 方面二間高サ一大六尺餘

寶物

鈴木氏感狀一通子孫農民弥兵衛所藏其文左ニ載ス

黒丸戦

白庭村鈴木氏孫兵衛藏

今度大回八平首何
侍十四人討之由神
抄石为夢駿別内二百
町京行之者也

仍为件

延元二年

宇太島尉

二月日

義卿

弔

石木弓了左史友

古蹟

巖窟 古へ夢窓國師奥州松島ニ下ル日暫ク岩城ノ野中地
ニ容タリ薄葉ノ民比佐居士ト云者請テ此ニ撒錫セシム故ニ
弟子ト共ニ来テ此ニ安禪スト云今岩窟百八ヲ存ス大ナル
モノハ縦二間二尺横一間四尺其餘皆四五尺許夢窓國師

歌アリ浪ノ音キカシト山ニ入ヌレハ岳コリカハレ松風ノ音寶
曆四年甲戌太田郷増井村正宗寺僧某菴ヲ嘗ミ幼住
菴ト稱ス

磯原村

地方東西十五町餘南北二十四町餘民屋百八十戸水戸ヲ
去ル一十四里十七町東ハ海ニ接シ南ハ下櫻井西ハ白庭
上薄葉領車領北ハ上岡領他隣ル奥州往來ノ驛路ナリ

関

秀按関ニアラス作者ノ誤也

遠見番所 道路ノ西ニアタツテ高地アリ此ニ関ヲ設テ抱
関ニ人ヲシテ常ニ千里鐘ヲ以テ蠻船ヲ必規ハシム此地眺望

奇絶萬里海上掌ニアリ

神社

天妃神社 方面ニ間高サ一丈五尺本體龍宮船魂神ナ

リ此山高サ五六丈廻リ三町許巔然トシテ沙漠ニ獨立

シ翠崑崙トシテ上ニ古松アリ偃蓋隕ヲ落ス西南ハ

大北川ノ下流ニシテ東ハ渺漫タル滄海ナリ朝トナク夕トナ

ク波濤磯磧ニ激シ翻翻トシテ雪ヲ碎ク實ニ奇觀ト云

ヘシ古ハ藥師如來ヲ安ス元禄三年庚午西山義公命

シテ同村松林寺ニ移シ明ノ沙門越カ携ヘ來ル天妃神

ヲ以テ之ニ代フ常ニ燈ヲ點シ澳船ヲシテ東西ヲ知ラレ

遍榜ニツアリ一ハ心越之ヲ書シ一ツハ清人吳趨程赤
城之ヲ書ス又心越カ書スル記文アリ天明九年己酉禪
僧大典ヲシテ碑文ヲ撰ハシメ松平頼政大炊頭之ヲ書シ
石ニ刻シテ之ヲ建ツ毎年正月二十三日七月二十六日九月
廿三日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當行藏院 同同久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末
寺ニシテ修驗タリ

寺院

松山寺免陸地アリ海上山ト号ス禪宗ニシテ下相田村他領龍寅寺ノ
末寺ナリ元龜元年庚午即中之ヲ開基スト云木尊

大日如來ヲ安ス木體藥師如來ナリ元祿五年壬申義公
天妃山ヨリ此ニ移シ大日如來ト稱ス記文アリ一説ニ天妃山
ノ像ハ其時ニ廢シ武茂郷矢又村藥師山ヨリ移スト孰
レカ是ナルヲ知ラス

古蹟

二竄海上ニツノ岩山アリ土人ニツ竄ト稱ス北山ハ高サ八丈餘廻
リ八十間餘上ニ草木ヲ生シ險危ニシテ上ルノ難シ早スルモ
アタツテ土人此ニ至リ兩ヲ禱ルト云南山ハ波濤之ヲ崩シ草
木ヲ生セス今存スルモノ一丈餘其狀ナク卧牛ノ如シ

大津村

地方東西十町許南北十町餘民屋三百五十一戸水戸ヲ
去ル一十六里東南ハ海ニ接シ西ハ仁井田領^他下村領^他北ハ
平瀨領^他隣ル四面皆他領ナリ一村漢ヲ以テ第一ノ業
トス

土産

貝石

五浦^{イッラ}名地ヨリ出ツ貝變シテ石トナリシモノト云

神社

大宮大明神社

縦六尺横五尺五寸高サ一丈五尺木體

天日方奇日方命ナリ延喜式ニ載ス常陸二十八社ノ内佐
波ヶ地祇神社是ナリ鎮座年月詳ナラス疑フラグハ

齊衡天安ノ間ナラシカ記文ニ貞觀元年己酉四月二十六日
常陸多珂郡正六位上佐波ノ神ニ從五位下ヲ授クトアリ每
年十一月十日ヲ以テ之ヲ祭ル

社主瀬谷大和成澤村ニ住ス

寺院

長松寺

^{免陸地}
アリ

大宮山觀明院ト号ス天台宗ニシテ福田村領^他

中山寺ノ末寺ナリ亮圓之ヲ開基スト云享保以來再ニ火
災ニカ、リ舊記ヲ失ス故ニ年月詳ナラス本尊藥師如
來ヲ安ス

十一面觀世音堂

方面三間高サ二丈七尺

古蹟

チマンホシノ磯 潮水未去ニアタツラチマンホシト響クニ似ク

リ故ニ名ツクト云

豊田村

地方東西十三町餘南北十四町餘民屋五十五戸水戸ヲ去ル
十四里十三町其地山海ニ接セス東ハ印庭南ハ上櫻井
木皿西ハ上相田北ハ上薄葉領他中婁領他隣ル古ハ古鋪
田ト称ス室曆十年庚辰更メテ豊田ト称ス

神社

鹿島大明神社 方面三丈高サ一丈餘木體武甕槌命

ナリ領座年月詳ナラス毎年正月十七日七月十日ヲ以テ之
ヲ祭ル

社主篠沼権太夫 木皿村ニ住ス

寺院

養命寺免陸地 松尾山ト号ス 禪宗ニシテ同郡友部村東泉寺

ノ末寺ナリ 古ハ大津村ニアリ元禄三年庚午此ニ移シ氣
山之ヲ中興スト云木尊聖觀世音ヲ安ヌ元禄元十戌辰

義公ノ賜ヲ祈ナリ

藥師如來堂 方面三間高サ三丈

東學院免陸地 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末寺ニ

東シテ修驗タリ元禄四年辛未宿泉之ヲ開ク今ニ至テ七世ト云本尊不動明王ヲ安ス

木皿村

地方東西一里八町餘南北七町餘民屋七十九戸水戸ヲ去ル
一予四里十八丁此村山ヲ帶リ東ハ豊田上櫻井南ハ石
岡大塚西ハ内野北ハ上相田小豆留^他隣ル

神社

王子大権現社^{免陸地} 方面六尺高十一丈八尺本體熊野椽
禱日命ナリ鎮座年月詳ナラス正應正慶ノ棟札アリ
文字^{ハレハ}蠹シテ分タス一ニ養老元年丁巳此ニ移スト云元

禄三年庚午木皿大塚上相田三ヶ村ノ鎮護神トス毎年九月十五日ヲ以テ之ヲ祭ル

社主篠沼権太夫

寺院

常樂寺^{免陸地} 羊藏山阿弥院院ト号ス天台宗ニシテ上手綱
村能仁寺ノ末寺ナリ開基年月詳ナラス本尊阿弥陀如
来ヲ安ス

藥師如來堂

方面四間高十一丈五尺

古蹟

四ツ塚^{道路} 隔テ東西ニ二塚アリ高十一丈三四尺廻リニ

十間許近世西塚ヲ發^{アハ}クニ石室アリ方八九尺又二十間許
ヲ隔ニ塚アリ^{地相田}ニ屬ス高ハ六七尺廻リ十間餘土人之ヲ合セ
テ四塚ト称ス何ノ故ナルヲ知ラス一説ニ手綱ト車トノ封
界ト云

上相田村

地方東西二十二町許南北十五町餘民屋六十戸水戸ヲ去ル
十五里此村山海ニ接セス東ハ豊田南ハ木皿西北ハ小豆畠
領^他下相田領^他中妻領^他隣ル

古蹟

塚 木皿村ノ條ニ出リ

内野村

地方東西一里十町餘南北二十八町許民屋二十九戸水戸
ヲ去ル十五里此村山ヲ帶リ東南ハ木皿大塚西ハ横川北
ハ小豆畠^{領他}隣ル奥州棚倉湯歧往來ノ支路^{ヨミミテ}ナリ

神社

至殿大明神社 方面二尺五寸高ハ八尺鎮座ノ年月詳

ナラス毎年十月十日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當隆徳院 同國久慈郡長谷村大光達密藏院ノ末
寺ニシテ修驗タリ木皿村ニ住ス

古蹟

碁盤石 方面二間高ハ一丈餘其色淺黒其状千碁局

ノ如シ因テ名ツクト云

大塚村

地方一里一町餘南北一里四町餘民屋百十四戸水戸ヲ去ル
一十四里餘西ニ山ヲ帶リ東南ハ木皿石岡西ハ横川北
ハ内野ニ隣ル

土産

鑛石 タマク田浦ヨリ出ツ形チ 鑛ノ如シ土人矢ノ根石ト称

寺院

西明寺 免除地アリ 白雲山總持院ト号ス真言宗ニシテ山城

國醍醐報恩院ノ末寺ナリ永享十年戊午宥徳之ヲ
開基ス本尊釋迦如来ヲ安ス

千手觀世音堂 方面四間高ハ二丈五尺本州巡礼所第

二十番ニアタレリ

長福寺 免除地アリ 大塚山清淨院ト号ス真言宗ニシテ山城州醍

醐報恩院ノ末寺ナリ文安元年甲子二月淨圖之ヲ開

基シ天文十六年丁未海障中興スト云本尊地藏菩薩

ヲ安ス

北野天神社 縦二尺九寸横二尺六寸高ハ九尺餘

大仙寺 免除地アリ 徳橋山ト号ス禪宗ニシテ上手綱村長宏寺

ノ末寺ナリ光山惠瑠之ヲ開基ス年月詳ナラス本尊正觀
世音ヲ安ス

古蹟

十里上阪 トリアケ坂ト訓ス西ニヒル一里餘ニシテ横川ノ分

界アリ此ニ至テ四方八面ヲ一望スレハ東ハ大海西南ハ高山ニシ

テ其景甚タ奇ナリ

菅候古城 古ハ大塚氏世ニ之ニ居ル元亨正中ノ間大塚某

佐竹行義ノ四男義成ヲ以テ嗣トス其子貞成一女アリ男子

ナシ 皇孫常王殿ヲ塔トシ龍虎山ニ居ラシム貞成晚及

テ男子ヲ生ス成義ト云其子行成其子通成其子隆成世ニ

掃部助ト号ス元龜ノ初ノ隆成龍山ヲ攻メ小山小次郎父子

ヲ殺ス岩城ノ命ヲ以テ龍虎山ノ主トナル明年其子親成ニ讓

リ此ニ老ヲ養フ親成晚ニ及テ又此ニ老ヲ養フ事ハ松岡ノ條ニ地

杉山脊南ヨリ西北ニ繞リ東ハ谷ニシテ山上ニ平地アリ南

ノ中等ニ磴アリ山下東北ハ谷ニシテ南ハ田疇ナリ東西ニ町

餘南北一町餘

笠松屋鋪 一ニ柵ト云大塚掃部助ノ邸ト云地高シテ山上ニ平

地アリ東西三十七八間南北十八九間今蓋ク又下ニ平地アリ

方二十間許東西ニ郭アリ外面東南ハ田疇ニシテ北ニ池ア

リ西ハ郊野ニ接ス山下ニ古松アリ圍ニ三尺土人笠松ト稱ス近

世風之ヲ親シ今ハ其根ノミ存ス

石岡村

地方東西一里四町南北八町餘民屋八十八戸水戸ヲ去ル
十四里餘東ハ上櫻井南ハ松井福嶋西ハ横川北ハ大塚木
皿ニ隣ル

山川

川 上君田ヨリ横川ヲ過テ此ニ至ル廣サ七八間水深キテ常

ニ二尺板橋アリ廣サ七尺長サ一間餘下流ハ大北川ナリ

土産

蜜柑

神社

氷宮大明神社免除地アリ 縦六尺横五尺三寸高一丈二尺木體北野

大神ナリ天徳三年己未九月九日龍虎山ノ城王常陸介成

定一ニ就定ニ作ル 始テ赤濱村北久保地ニ鎮坐ス天文中大塚氏命

シテ此ニ移ス同族大蔵成舜極樂寺空岸修験トナリ之ヲ

司ル今ノ重ニ院ニ至テ九世ト云毎年九月廿五日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當重ニ院 同國久慈郡長谷村大光達密蔵院ノ末寺ニ

テ修験タリ

寺院

西光寺免除地アリ 礫石山東光院ト号ス天台宗ニシテ上寺綱村能仁

寺ノ末寺ナリ寛徳三年乙酉圖意之ヲ開基シ文治二年
丙午慶意中興スト云本尊阿弥陀如来ヲ安ス

古蹟

岩淵古屋舗

天正ノ末大塚信濃守親成此ニ先ヲ養フト云親成晩年

ニ管俣ニ居ル要孌ルヲアリ男子ヲ生ス助兵衛ト云慶長中
岩淵ニ居ル親成此ニ先ヲ養フト云リ恐クハ誤ナラシカ

地小シク高シテ上

ニ平地アリ此ニ牆ナラアリ今盡ク田疇トナル外面南ニ川アリ東西北ノ三面

盡ク田疇タリ東西七十間許南北五十間餘

リウカイ古屋舗

極樂寺空岸之ニ居ルト云地高シテ山上ニ

小シク平地アリ東北ニ四等ノ田ウツリケル磴アリ廣サ三四間ヨリ十間

餘ニ至ル長サ四十四五間ヨリ四十間餘ニ至リ東ニ平地アリ縦

五十間許横二十間餘北東ニ牆アリ外面南東北ニ郭アリ南

ハ險ニシテ下ニ谿アリ西北ハ谷相接ス

山中郷十一ヶ村

横川村

地方東西二里二十町餘南北二里許民屋六十八戸水戸ヲ去
ル一六里東ハ大塚内野石岡南ハ松井若栗西ハ大荷
田下君田北ハ柳澤花園他小豆島他隣ル四面盡ク山
ヲ帯リ

山川

瀑布 水源上君曰ノ山中ヨリ出ツ幅三丈許高サ六丈許
飛流三等ニ分レ郷音キ迅雷ノ如ク噴沫驟雨ニ似タリ四
面岩石數十丈樹林蔭翳シ山中ノ一奇觀ナリ土人白

布ノ瀧ト称ス下流石岡上櫻井豊田ヲ過テ大北川ト云
土産

磬石 其色浅黒是ヲ撃テハ郷音アリ磬ノ如シ

寒水石 其色白シタマク深山ヨリ出ツ石灰トナストキハ最佳

ナリ

猪鹿ノ皮 渾テ山中郷諸村ヨリ出ツ

藤布 同前

猪草 同前

栗 同前實至テ小也

蕨 同前

神社

十殿大明神社 縦三尺三寸餘横三尺餘高廿一大一尺餘

本郷坪名地アリ領座年月詳ナラス毎年九月五日以

テ之ヲ祭ル

別當常泉院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末

寺ニシテ修験タリ

十殿大明神社 縦三尺横二尺七寸高廿一大餘小神ノ坪

名地アリ毎年九月二十一日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當同前

大荷田新田

地方東西一里餘南北一里許民屋十二戸水戸ヲ去ル_一十五里
東ハ横川下君田南ハ上君田西ハ園見里川北ハ柳澤ニ隣ル
此村山間ニアリ古ハ保内郷黒澤村ヨリ五左衛門_{子孫五左衛門ト云今ニ至テ}
世_五太郎衛門家_ニト云者二人来テ墾クト云年月詳ナ
ラス

柳澤新田

地方東西一里ニ町許南北一里十二町餘民屋七戸水戸ヲ去ル
一六七里東ハ横川南ハ大荷田西ハ園見片貝_{他領北ハ小川領}
ニ隣ル四面盡ク山ヲ帯_一古ハ大生瀬村益子隼人_{子孫農民}
ニシテ直セト云之ヲ墾クト云年月詳ナラス此村木_ニリ_碗脊_ニ
世教詳ナラス

ノ地ニシテ五穀實ラス民羊年ノ畜ナシ故ニ税ス收メテ後
後ヲ免ス下君田ニシテ耕田ヲ賜フ隘村木ヲ以テ鉢ヲ造
リ治計トス

土産

木鉢

神社

八幡社 後一尺八寸横一尺五寸高_ナ五尺八寸鎮座年月詳
ナラス柳沢大荷田ニ村ノ鎮護神タリ毎年十月五日ヲ
以テ之ヲ祭ル

別當大乗院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末

寺ニシテ修験タリ徳田村ニ住ス

若栗新田

地方東西二十七町餘南北三十町餘民屋二十二戸水戸ヲ去ル_一十五里東ハ松井横川南ハ上手綱西ハ上君田大能北ハ下君田ニ隣ル四面盡ク山ヲ帯ヘリ明暦元年乙未木里川新田ヨリ掃部右衛門ト云者来テ_{子孫}之ヲ墾クト云

神社

吉田大明神社 方面一尺四寸高サ三尺九寸木體日本

武尊ナリ明暦二年丙申此地ニ鎮座ス毎年八月廿八日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當明王院 同國久慈郡長谷村大光達密藏院兼寺

ニシテ修験タリ上手綱村ニ住ス

上君田村

地方東西二里十七町餘南北一里二十四町許民屋百六戸水戸ヲ去ル_一十四里東ハ下君田若栗南ハ大能西ハ上田代里川北ハ大荷田ニ隣ル地_一ニシテ四面山ヲ帯リ

土産

香草

神社

十殿大明神社 縦七尺五寸横四尺七寸高サ一丈九尺木體

武甕槌命ナリ鎮座年月詳ナラス毎年十月十日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當台山寺 寺院ノ條ニ出ツ

寺院

台山寺免除地アリ 十殿山不動院ト号ス天台宗ニシテ上寺綱村

能仁寺ノ末寺ナリ宥意是ヲ開基ス年月詳ナラス本尊

阿彌陀如来ヲ安ス

正觀世音堂 方面ニ間半高ナニ丈餘本州巡礼所

二十一番ニアタレリ

古蹟

古館 古何人ノ居ルヲ知ラス地取山高シテ山脊西ヨリ東

ニ依ル西山ノ上ニ平地アリ 縦二十間餘横五間許前後隍

アリ又東ニ接シテ平地アリ 縦二十間横十五間許漸ク東

ニ依ル下ニ隍アリ北ヨリ南ニ繞ル廣サ三四間長サ九十間許

又東南ニ平地アリ 縦三十間許横十五六間山下ノ南北ニ谷

アリ西ハ山脊漸ク低ル東ニ田疇アリ 此地今台山寺ノ境ニ属ス

下君田村

地方東西三十二町餘南北一里ハ八町許民屋六十八戸水戸ヲ去

ル一十五里拾八丁東ハ横川南ハ若栗西ハ君田北ハ大荷田

ニ隣ル四面盡ク高山ナリ

神社

大塚権現社 方面一尺高サ二尺四寸石ヲ以テ造ル木體大日如

未ナリ鎮座年月詳ナラス毎年八月之ヲ祭ル

別當南塔院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院末寺

ニシテ修験タリ大能村ニ住ス

寺院

松岩寺 免陸地 君田山ト号ス禪宗ニシテ上手綱村長宏寺ノ末

寺ナリ開基年月詳ナラス重山中興スト云木尊釋迦

如來ヲ安ス

古蹟

古館 古(豊後州)ノ人守野六郎利仲ト云者之ニ居ル云

守野氏ノ遠孫儀衛門農民ニシテ館ノ下ニ住ス舊記ナシ

世數詳ナラス地形高山ニシテ上ニ平地アリ 縦十間餘横

五間許東北ハ險ニシテ西南ハ漸ク依ル西ヨリ南ニ繞テ郭

アリ長サ五六十間餘

大能村

地方東西一里二十八町許南北一里十二町餘民屋四十六戸

水戸ヲ去ル一拾二里餘東ハ上手綱南ハ中戸川島曾根西

ハ米平折橋北ハ上君田若栗ニ隣ル

神社

十殿大明神社

縦二尺四寸横二尺一寸高六尺餘木體武

麁樞命ナリ享祿元年戊子十月十日此ニ鎮座ス毎年十

月十日ヲ以テ之ヲ祭ル

社主佐川日向

古蹟

牧地

延寶六年戊午

義公之ヲ開ケリ古ハ常陸ニ小野

御牧ト云ル地アリ新千載集ニ常陸ナル小野ノ御牧ノ露

草ヲ見シハ駒ノ尾ニソアリケル其遺蹤證トスハキナシ大

能小野ト音近キヲ以テ此ニ牧地ヲ開キ四面ニ牆ヲ繞ラス方

三里餘百匹ヲ放ツテ年々ニ之ヲ取ル其後生長シテ數

百ニ至リ牆ヨリ出テ田圃ヲ蹴踏シ土人之ヲ患フ因テ天明七
年丁未ニ至テ盡ク之ヲ取り牧ヲ廢ス

中戸川村

地方東西二十八町餘南北二十町許民屋十七戸水戸ヲ去ル
一十二里東ハ鳥曾根南ハ南田代西ハ米平北ハ大能ニ隣
ル四面盡ク高山ナリ○永五年戊辰山部村左次右衛門ト
云者之ヲ壑ソト云子孫左次衛門ト云
今ニ至テ八世ト云

土産

紙 香草

神社

熊野大権現社 縦一尺六寸横一尺五寸高廿五寸餘鎮座

年月詳ナラス毎年十一月十五日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當大光院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末

寺ニシテ修験タリ秋山村ニ住ス

米平新田

地方東西二十二町餘南北三十三町許民屋十一戸水戸ヲ去

ル十二里東ハ中戸川南ハ田代西ハ黒坂折橋北ハ大能

隣ル寛永十三年丙子下幡村ヨリ五左衛門子孫次郎左衛門ト云今

新次郎子孫平左衛門世數詳ナラス藤八郎子孫藤八郎世數詳ナラス久左衛門

彌衛門子孫ト云者来リ之ヲ墾クト云當時歲平

新田ト称ス正保中今ノ称ニ更ム四面畫ク山ヲ帯ヘリ

神社

熊野大権現社 縦一尺五寸横一尺四寸高廿三尺七寸享

保十五年庚戌下幡村ヨリ此ニ移ス毎年九月十八日ヲ以テ

之ヲ祭

別當覺乘院 同國久慈郡大先達密藏院ノ末寺ニシテ

修験タリ高原村ニ住ス

鳥曾根村

地方東西十四町餘南北十五町餘民屋九戸水戸ヲ去ル

十二里餘東ハ秋山南ハ南田代西ハ大能中戸川北ハ七手綱

隣ル南北ニ高山ヲ帯ヘリ寛永十五年戊寅藤右衛門子孫
藤三門世敷 仁左衛門子孫津三門世 ト云者来リ之ヲ壑クト云
詳ナラス

神社

熊野大権現 縦一尺三寸横一尺二寸高サ二尺八寸鎮座年

月詳ナラス毎年十一月十五日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當南塔院 同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末寺

ニシテ修験タリ大能村ニ住ス

南田代新田

地方東西三十町南北十町餘民屋二千戸水戸ヲ去ル十二里
東ハ福平南ハ高原西ハ米平北ハ鳥曾根中戸川ニ隣ル四

面盡リ高山ナリ寛永十四年丁丑高倉村ヨリ十右衛門子

十右門ト云 六衛門子孫六右衛門ト ト云者来リ之ヲ壑クト云當時

今ニ至テ七世 田代谷ト称ス其後南田代ト称ス寛政二年廣成野沢新

田ト更ム同十二年庚申舊名ニ復ス

土産

命

神社

辨大天社 方面一尺四十高サ三尺六寸鎮座年月詳ナラ

スレ毎年十一月十四日ヲ以テ之ヲ祭ル

別當大光院同國久慈郡長谷村大先達密藏院ノ末

原寺ニシテ修験タリ秋山村ニ住ス

辨方入新 六十四卷七画十三天八下野或半片精

然野大権記 賦城二平林一又二十高一人二平林

命月引 十月十日 以之

別家南 式是都長公大人也公成

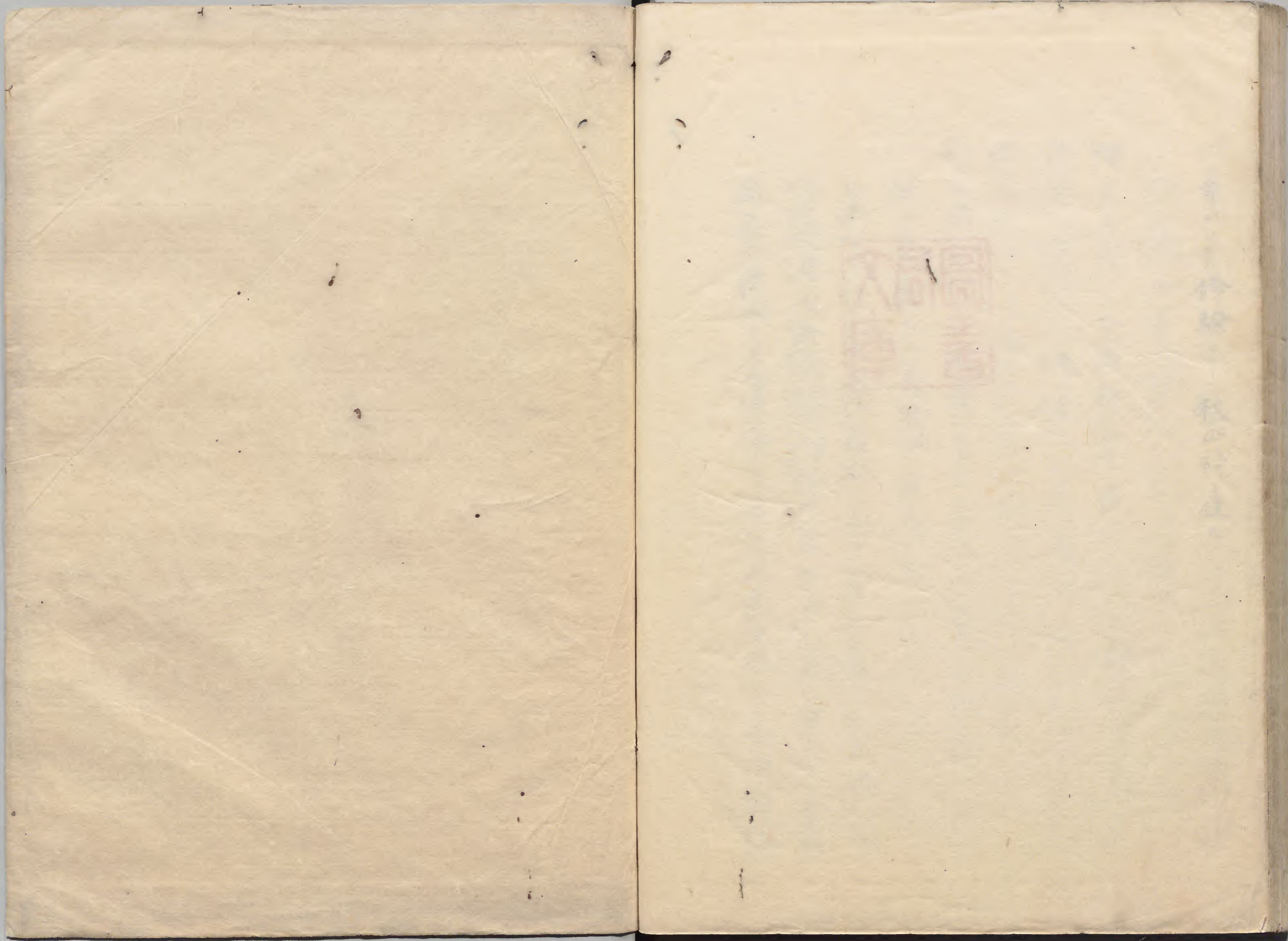
田方 有村藤子

田方 田方有村藤子

田方 田方有村藤子

田方 田方有村藤子





Vertical text on the right edge of the right page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are faint and difficult to read, but appear to be in seal script.

